

報道関係各位

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン×ヴィア・ホールディングス
アフリカの子どもたちに100万食の食事を！
ベジメニュー・紙バッグのご購入で10円がセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに寄付

社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子どもたちのための民間の国際援助団体（NGO）の社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（理事長：上野昌也／理事・事務局長：渋谷弘延、以下SCJ）は、アフリカの子どもたちへの食糧支援を目的として、株式会社ヴィア・ホールディングス※1（本社：東京都文京区、代表取締役社長：大場典彦）との連携企画を実施することを決定しました。

同企画は、子どもたちのための支援活動を行うSCJと、外食サービス事業を展開するヴィア・ホールディングスが、相互の強みを生かして実施するものです。ヴィア・ホールディングスは、同社が2010年11月より開始するCSRの取組み「ヒューマンアース・プロジェクト」の一環として、ヴィア・グループの店舗で販売する「ベジメニュー」（大豆で作ったお肉「ベジミート」を使用したメニュー）1品のご注文、または、食べきれなかったお料理をお持ち帰りいただくための紙バッグ1個（1枚50円）のご購入につきそれぞれ10円をSCJへの寄付金額とします。集められた寄付金額は、SCJを通してアフリカの子どもたちへの食糧支援に活用されます。

本コラボレーションは、「すべての子どもの生きる権利が実現されている世界」を目指すSCJの想いと、「食べるものがなく飢えに苦しむ人々が大勢いるという事実から目をそむけず、みんなで力を合わせて問題解決に真剣に取り組もう」という「ヒューマンアース・プロジェクト」の趣旨に、相互が賛同し実現しました。

アフリカの子どもたちの栄養事情は深刻です。5歳以下の子どもの40%が栄養不良が原因と考えられる発育障害に陥っており、21%が標準体重に達していないとされています。※2

SCJとヴィア・ホールディングスは、プロジェクトを通して年間100万食相当の食糧支援をアフリカの子どもたちに届けることを目標としています。



このマークのメニューのご注文金額から1品につき10円がアフリカの子どもたちへの食糧支援に活用されます。

※1 ヴィア・ホールディングス

2005年4月にホールディングス体制へと移行したヴィア・グループは、75年の事業実績をもつ印刷流通事業に加え、9年前より外食サービス事業に意欲的に参入し、既存業態の積極出店と新規業態の開発、企業再生をコアとしたM&A戦略などにより、業績の拡大を進めている。「備長扇屋」「北の家族」「オープン亭」などの多数の外食チェーン店を展開しており、外食サービス事業は現在、同グループの主要ドメインとなっている。

※2 ユニセフ「Tracking Progress on Child and Maternal Nutrition」（2009年発行）より

■セーブ・ザ・チルドレンとは

1919年設立。数少ない団体にだけ認められた、国連経済社会理事会(UN ECOSOC)のNGO最高資格である総合諮問資格(General Consultative Status)を取得しています。現在、世界で29カ国のそれぞれ独立した組織が、パートナーを組み、世界最大のネットワークを活かして、120カ国以上で活動を展開しています。アフリカ地域においては、現在約30カ国で活動しています。本年より日本人もスーダンに駐在し支援事業を展開しています。